

郷土あきたの明日を拓く「自立と共生」の人づくり



目標1

志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実

目標2

将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備

目標3

生涯を通じて個性と能力を発揮できる社会教育の充実

1

計画期間（5年間）を通じて目指す教育の姿

郷土あきたの明日を拓く「自立と共生」の人づくり

近年、人口減少・少子高齢化の進行をはじめ、社会環境がめまぐるしく変化していますが、郷土の発展ひいては我が国の発展の礎は「人づくり」にあり、その人を育てる教育の重要性はいつの時代も変わるものではありません。

郷土への誇りと愛着を持ち、多様化・複雑化する社会を力強く歩む子どもの育成、生涯を通じて学びを続け、豊かな人生を送るための生涯学習社会の実現など、社会全体が持続的な発展を遂げるための基盤は教育にあります。

そのため、本市では、次代を担う子どもたちが、予測できない未来を生き抜くためには、困難な状況にも主体的に向き合い、よりよい社会を描きながら課題を解決していく「自立」の力と、他者の個性や価値観を尊重しつつ、協働して社会を創造する「共生」の力を身に付けることが大切であるとの考えに立ち、平成20年3月に第1次秋田市教育ビジョンを策定して以来、「自立と共生の力をはぐくむ教育」の実現を目指し、各種施策の推進に努めてきました。

本計画では、これまで培ってきた「自立と共生」をキーワードとして継承し、郷土あきたの豊かで活力ある発展に向け、一人ひとりが志と意欲を持つ「自立」した人間として、主体的に新たな価値を創造し、未来を切り拓く力と、自らの個性や能力を最大限に発揮しながら、他者と「共生」し、互いに支え合い、高め合う力をはぐくむことができるよう、E S D（持続可能な開発のための教育）など、時代の要請に柔軟かつ的確な対応を図りながら、本市教育のさらなる発展を目指します。

2

計画の目標

本市教育の目指す姿の実現に向け、次の3項目を本計画の目標として位置付け、各種施策の推進と充実に努めます。

【目標1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実

社会の急激な変化の中で、子どもたちが個性を発揮し、互いに支え合いながら、たくましく生きていくためには、「豊かな心（徳）」と「確かな学力（知）」、「健やかな体（体）」をバランス良くはぐくむことが重要です。

本市では、「徳」が志を持ち自立して生きていくための、そして、社会で他者と共に生きていくための原動力であり、知識や体力と一体となって、価値ある「知」や「体」を生み出すとの考えのもと、豊かな人間性を身に付け、社会のた

めに何をなすべきかという「志」を持った子どもをはぐくむ学校教育を推進します。

また、幼保^{*1}小および小中の緊密な連携のもと、発達段階に応じたきめ細かな指導とともに、子ども一人ひとりの状況に応じた教育の充実に努めます。

※1 幼保

幼稚園、保育所（園）、認定こども園を指す。

【目標2】将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備

社会環境が大きく変化する中で、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境と体制を構築することが重要です。

本市では、子どもたちの学習活動の基盤となる安全安心で快適な学校教育環境の整備とともに、学校内外を問わず、あらゆる場面を想定した子どもたちの安全確保に取り組みます。

また、今後の児童生徒数の減少を見据え、将来にわたり持続的な活力ある学校づくりを推進するほか、経済的な支援や障がいの特性に応じた学習環境の整備に努めます。

【目標3】生涯を通じて個性と能力を発揮できる社会教育の充実

「自立と共生」の力は、学校教育段階など人生の一時期のみで身に付くものではなく、生涯にわたって、多様な場で様々な学習経験を積み重ねていく中で身に付くものです。

また、人口減少・少子高齢化が進行する中で、個人の自立に向けた学習ニーズが高度化・多様化しているほか、絆づくり・地域づくりに向けた体制を構築するうえで、社会教育が果たす役割は今後ますます重要になります。

本市では、市民の一人ひとりが、いつでもそのライフステージに応じた学習の機会が得られ、生涯を通じて、自らの個性と能力を高めるとともに、学習成果を適切に生かすことができる社会教育の充実に努めます。